

民意を反映する選挙制度実現
比例定数削減反対！ **運動情報**

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【憲法しんぶん速報版】

2013年1月22日

第375号 Tel 03-3261-9007
本号4号 Fax 03-3261-5453

いまこそ憲法を生かすとき

世論と運動であらゆる改憲策動を阻止しよう！

1・28 院内集会、5・3 集会実行委員

会の成功を

「虚構の多数」は小選挙区制の特徴から生まれた議席数だけではありません。国会内では改憲を掲げた政党の議員が多数を占めていても、国民の意思とは大きな乖離があります。「毎日」の世論調査（2012年12月27日）は「9条改憲反対」が過半数であるとしています【別項参照】。国民の声に反した暴走は許されません。「任期中の改憲」をかかげ、国民に追い詰められ、政権を投げ出したかつての安倍首相の姿を国民みんなが覚えています。

とりわけ重要な 5・3 憲法集会実行委員会の 取り組み

2000年に憲法調査会が発足し、改憲策動が強められたとき、「5・3 憲法集会実行委員会」は、改憲に反対する広範な市民団体によって組織されました。憲法会議もその結成段階から参加してきました。同実行委員会は毎年、憲法記念日に集会と銀座パレードを行なっています。また、5月3日だけでなく、毎国会の開会日には院内集会をひらくなど、共同行動が日常化・通年化しています。さらに、こうした活動スタイルが全国各地に普及しています。

今日の憲法をめぐる情勢のもとで、「5・3 憲法集会実行委員会」の活動強化が文字通り特別重要となっています。

1月28日（月）には、院内集会と今年の憲法集会の実行委員会が開かれます。積極的な参加で、大きく成功させることを呼びかけます（実行委員会へのご参加は憲法会議の構成団体が対象）。

2つの案内文書を送ります。【別項】

すべての団体へ 院内集会の案内を再送します。

STOP！9条破壊と改憲の道——憲法を守る1・28院内集会

集団的自衛権の行使と改憲を主張する安倍内閣の下で初めての本格的な国会＝通常国会が始まります。私たちはこの安倍内閣の改憲暴走を絶対に許さない強い決意を込めて、国会の開会日に院内集会を開きます。ぜひ一人でも多くの市民の皆さまがご参集下さいませよう、呼びかけます。

★日時：1月28日（月）15：00～16：30（開場14：30）

★場所：参議院議員会館101号室

内容：国会議員の挨拶、&市民諸団体の意思表示

ゲスト：宇都宮健児・前日本弁護士連合会会長

俵 義文・子どもと教科書全国ネット21事務局長

川崎 哲・九条世界会議実行委員会事務局長

★集会サブスローガン

集団的自衛権の行使は「戦争する国」への道！

国家安全保障基本法反対！

96条改憲から9条改憲への企て反対！

原発なくせ！再稼働反対。

領土問題は平和的話し合いで解決を！

オスプレイ出て行け。基地なくせ！

教育を破壊する安倍「教育再生」反対！

消費税増税、社会保障改悪許さない、雇用守れ！

国民の声が届く選挙制度を、比例定数削減反対！

★主催：2013年5・3憲法集会実行委員会

（事務局構成団体）憲法改悪阻止各界連絡会議、「憲法」を愛する女性ネット、憲法を生かす会、市民憲法調査会、女性の憲法年連絡会、平和憲法21世紀の会、平和を実現するキリスト者ネット、許すな！憲法改悪・市民連絡会

連絡先：憲法会議 03-3261-9007

市民連絡会 03-3221-4668

憲法会議参加団体に実行委員会開催案内を送ります。

2013年5・3憲法集会 第3実行委員会のご案内

2013年1月

皆さま

総選挙が終わり、改憲をめざす第2次安倍内閣が発足しました。

なかなか容易ではない情勢ではありますが、憲法改悪に反対し、憲法を生かす方向で広範な共同を作り出してきた5・3憲法集会の果たすべき役割は例年にもまして重大です。夏の参院選を前にして、多くの人びとがこの集会に注目し、期待しております。

つきましては、2013年の5・3憲法集会を大きく成功させるため、下記の次第で第3回実行委員会を開催したいと思います。

なお、この日は午後3時から参議院議員会館101号室で通常国会初日の院内集会があります。

御多忙の所とは存じますが、この重大な情勢の下、ぜひとも万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますよう、ご案内致します。

記

日時：1月28日（月）18：30～

場所：会場：文京シビックセンター 区民会議室 5階会議室C（憲法市民講座名で借りています）

議題：2013年5・3憲法集会準備（プログラム）の具体化について。

今後の進め方について

その他

5・3憲法集会実行委員会事務局

憲法改悪阻止各界連絡会議、「憲法」を愛する女性ネット、憲法を生かす会、市民憲法調査会、女性の憲法年連絡会、平和憲法21世紀の会、平和を実現するキリスト者ネット、許すな！憲法改悪・市民連絡会

連絡先：憲法会議 03-3261-9007

市民連絡会 03-3221-4668

新聞情報

安倍首相、憲法改正意欲をユドヨノ大統領に表明

読売新聞（電子版 2013年1月21日 18時42分）

安倍首相が18日に行ったインドネシアのユドヨノ大統領との首脳会談で、自らの任期中に憲法改正を目指す考えを表明していたことが、21日分かった。

政府筋が明らかにした。憲法を改正しても、平和主義を堅持する日本の立場に理解を求める狙いとみられる。

会談で、安倍氏は自衛隊を「国防軍」と位置づけるための憲法改正や、集団的自衛権を行使できるような憲法解釈の変更について説明したのに対し、大統領は黙って聞いていたという。

本社世論調査:9条改正「反対」52%

毎日新聞（電子版 2012年12月27日 22時33分）

毎日新聞が26、27両日実施した緊急全国世論調査によると、自民党が先の衆院選公約に盛り込んだ憲法9条改正について「賛成」と答えた人は36%にとどまり、「反対」が52%を占めた。集団的自衛権を行使できるよう現行の憲法解釈を変更することに関しても「反対」37%で、「賛成」（28%）を上回った。

憲法9条改正に「賛成」と答えた人は、自民支持層で56%と半数を超えたものの、連立政権を組む公明支持層では9%。「支持政党はない」と答えた無党派層では24%だった。集団的自衛権の行使も、自民支持層で「賛成」44%、「反対」15%だったのに対し、公明支持層では「賛成」14%、「反対」46%と逆転している。

安倍晋三首相は先に首相を務めた07年、集団的自衛権行使を容認するケースとして、公海上の米軍艦船の護衛や米国を狙った弾道ミサイルの迎撃など4類型を提示している。首相は26日の就任記者会見で、集団的自衛権の行使について「検討を始めたい」と表明。今回の調査では「よく分からない」が31%を占めており、有権者との「温度差」が浮き彫りになっている。